



なぜ、定期テストの点数を伸ばすのか？

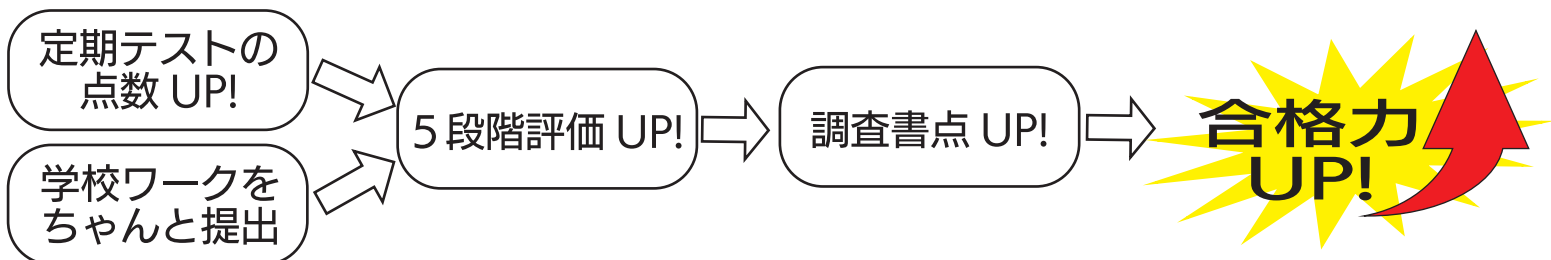
高校入試では合否を決定するのに、学力検査点と調査書点の2つが大きな要素となります。

- 学力検査点・・・入試当日の5教科の点数のこと
 - 調査書点・・・中学校で作成される通知表をもとにした評価の点数のこと
- 高校入試において、この2つがバランスよく合格点に達している必要があります。

調査書点は、学期末に配布される通知表の5段階評価をもとに算出されます。その通知表の評定は、定期テストの点数と、学校ワーク等の提出物の状況、授業態度などで決まります。しかも、**高校入試の調査書点は中学1年生～3年生の通知表の5段階評価がそのまま点数として反映されます。**

つまり、**毎回の定期テストの点数を1点でも上げること、提出物をきちんと提出すること**がとても重要になってきます。当たり前ですが、ゲームのようにリセットはできません。学校から配布される成績カードをみてもわかるように毎回きちんと記録されていきます。

だからこそ、毎回の定期テストと真剣に向き合う必要があるのです！



ウィニングの学習のすすめかた

※これは一例です。ひとりひとりに合わせて学習計画を立てています。



塾の授業は、学校の進度より先を進めます。そうすると学校の授業が復習の場になります。受講教科は1ヶ月前までにテスト範囲になる内容を終わらせます。



テスト1ヶ月前からは受講教科の反復学習と受講教科以外の対策も始めます。反復学習によって最低でも3回はテスト範囲の学習をすることができます。また、学校ワークも並行して進めていきます。



テスト2週間前からは、予想問題でチェック！弱点の克服と繰り返しの学習で、5教科のテスト範囲を徹底的に演習します！テスト本番で1人で問題に立ち向かい戦える本当の実力を身につけ、定期テストで「自己ベスト更新」を目指します！

